

お住まいの地域について

問1 地区小学校区でお答えください

	美幌小	東陽小	旭小	無回答	合計
人数	44	45	34	0	123
割合	35.8%	36.6%	27.6%	0.0%	100.0%

お子さんと家族の状況について

問2 お子さんの学年

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答	合計
人数	22	22	21	20	18	19	1	123
割合	17.9%	17.9%	17.1%	16.3%	14.6%	15.4%	0.8%	100.0%

問3 お子さんを含めたきょうだいの人数

	0人	1人	2人	3人	4人	5人	無回答	合計
人数	7	17	50	32	8	2	7	123
割合	5.7%	13.8%	40.7%	26.0%	6.5%	1.6%	5.7%	100.0%

お子さんの人数が2人以上

いる場合の末子の年齢

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
人数	0	0	0	0	1	0	3	21	17
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	2.4%	17.1%	13.8%
年齢	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	無回答	合計
人数	17	12	8	7	0	2	0	35	123
割合	13.8%	9.8%	6.5%	5.7%	0.0%	1.6%	0.0%	28.5%	100.0%

問4 お子さんからみた調査票の回答者

	母親	父親	その他	無回答	合計
人数	103	19	1	0	123
割合	83.7%	15.4%	0.8%	0.0%	100.0%

問5 回答者の配偶者の有無について

	配偶者がいる	配偶者がいない	無回答	合計
人数	108	15	0	123
割合	87.8%	12.2%	0.0%	100.0%

問6 お子さんの子育てを主に行っている者

	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答	合計
人数	69	47	3	3	0	1	123
割合	56.1%	38.2%	2.4%	2.4%	0.0%	0.8%	100.0%

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 お子さんを見てもらえる親族・知人【複数回答】

	人数	割合
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	43	26.4%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	67	41.1%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	9	5.5%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人が	29	17.8%
いずれもない	10	6.1%
無回答	5	3.1%

問7-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について【複数回答】

	人数	割合
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	64	45.7%
祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	21	15.0%
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	26	18.6%
自分たち親の立場として負担をかけていることが心苦しい	21	15.0%
子どもの教育や発達にふさわしい環境であるが、少し不安である	6	4.3%
その他	2	1.4%

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について【複数回答】

	人数	割合
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	16	41.0%
友人・知人の身体的負担が大きく心配である	2	5.1%
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	8	20.5%
自分たち親の立場として負担をかけていることが心苦しい	12	30.8%
子どもの教育や発達にふさわしい環境であるが、少し不安である	0	0.0%
その他	1	2.6%

問8 子育てをする上で気軽に相談できる人又は場所はありますか

	人数	割合
いる／ある	109	88.6%
いない／ない	11	8.9%
無回答	3	2.4%
合計	123	100.0%

問8-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか【複数回答】

	人数	割合
祖父母等の親族	89	38.2%
友人や知人	84	36.1%
近所の人	6	2.6%
子育て支援施設	3	1.3%
保健所・保健センター	1	0.4%
教師・養護教諭等学校職員	33	14.2%
民生委員・児童委員	0	0.0%
かかりつけの医師	9	3.9%
自治体の子育て関連担当窓口	1	0.4%
その他	7	3.0%

- NO 1 第1子が中学生。部活で親が送迎するのが当たり前になっている現状がある。その辺のサポートがあると家庭はありがたい。(土日に勤務が多い家庭が多い現実をご理解ください)
- NO 2 病児(回復期)の看護。会社を休めない時、見てくれる方がいるととてもありがたい。
- NO 3 子どもが病気になった時気軽に預けられる施設が要る。
- NO 4 幼児の預かり保育までではないが、様子を見に来てくれるボランティアの方がいれば助かると思う。
- NO 5 短時間の子どもの預かり、習い事への送迎
- NO 6 見てくれる、預かってくれると働きやすくなる。送り迎えの関係で習い事(場所や時間)をあきらめなければならないので仕事の時間が長いと難しい。
- NO 7 町外の外れに住んでいるので学校へは通学バスが出るが、休みの日等は親が車で連れて行かねばならず、仕事の都合で無理な時も多いので習い事や町の行事に気軽に参加させられない歯がゆさがある。
- NO 8 もう少し学校等でそういう場をもうけて欲しい。
- NO 9 美幌はかなり手厚い方だと思いますが、保育士や役場関係のスキルの低さが気になる。
- NO 10 児童館があればいいと思う。
- NO 11 私(祖母)はすぐに休みをとれない仕事のため、病気の時など見てくれる人がいれば助かる。
- NO 12 就学後も子育て支援センター、発達支援センターを利用できればうれしい。
- NO 13 産婦人科医が来てほしい。子どもたちの行事が土曜日が多いので日曜日も増やして欲しい。自治会でも行事を増やして欲しい。
- NO 14 自分の子どもだけではなく他の子どもで気になる子がいてもどこに相談して良いかわからないので困ったことがあった時に話を聞いてもらえる人の情報があると相談しやすいと思う。
- NO 15 乳児から幼児期、悩みや不安(特に第1子)が多くあった。子育て支援センターの存在はありがたい。若いお母さん方のサポートをできるようスタッフの方々の充実、心身のサポートがあれば良い。シングルマザーの育児への負担は相当な重みと思う。特別な支援も必要では。
- NO 16 働いていて普段子育て支援センターの利用のない場合相談などはできず、病院に行きたい時なども急には頼めない。児相的な相談場所もわからない。発達に不安がある時等。
- NO 17 イベントの企画・開催、集会室等を利用し学年別で勉強やスポーツ、家庭では出来ないことなどをサポートしてくれるといい。
- NO 18 今は特にないが、経験上小学4年生以降一人で留守番や時間をうまく過ごせるようになるが、低学年では厳しい。特に盆正月や連休は不安。ひとり親が必ず盆連休とは限らない。頼る人が近くにいない場合大変。
- NO 19 意外に町内のことが良くわからず、わからないことをどこに聞いたらいいかわからなくて困ったこともある。ホームページなども含めもっとわかりやすくなると助かる。
- NO 20 通勤形態に応じて朝早くや夜の遅いお迎えを行政がサポートしてくれるとありがたい。核家族化で父母の負担は昔より増加し、子どもを取り巻く環境は昔よりも危険(犯罪)なので低年齢の子どもを一人で留守番させたり公園で遊ばせたりできない。
- NO 21 急な用事が出来た時に学童等へ行けるようにしてもらいたい(かぎ等を持たせていないため)。ランドセルでも児童センターに行けるようにして欲しい。
- NO 22 美園保育所を児童館として宿題や子ども同士のコミュニケーションができれば良い。親が仕事で留守の家や家に入れたくない家庭もある。地域にそんな場所があればいい。
- NO 23 子どもと関わるすべての人に自閉症のことを知ったり勉強する機会があればいいと思う。1個人で伝えても聞いてもらえない、理解してもらえない。
- NO 24 共働きのため子どもを18時から19時の間預かっていただける場所が必要。保育と食事も提供していただければありがたい。子ども食堂を発展させて欲しい。
- NO 25 こども園ができたことで乳幼児の預け先のサポートが強化できたように思う。ただ人数が多く先生が足りていないという声も聞こえるので賃金アップなど小学低学年を含む幼少期を手厚くサポートすることを望む。

- NO 26 緊急時にも対応してもらえる託児施設
- NO 27 グレーゾーンの子達が増えているのに学校の先生方の発達障害の子に対しての知識や接し方が全くわかってない先生が多く、昔ながらの怒る教育やバツをあたえるやり方、言葉で言う事を聞かせようとするやり方全て逆効果だと思うし恐怖で言う事を聞かせるやり方は学校をキライになるだけで不登校の子を増やすだけだと思う。先生がそういう小学生の子供(男子も女子も)が料理を教えてもらう機会を増やしてほしい(使用する食材は美幌産で)学校の家庭科で行うのは少なく、働いて忙しい母親が多く各家庭ではなかなか、、、料理を覚えながら栄養学も身につけてほしい
- NO 28 学童保育の無料化。児童センターに1日を通して預けられる環境(現在は昼で1度帰宅しないといけない)仕事をしている時、安心して預けられる場所があればいいです。
- NO 29 病気の時に休めない仕事がある時、安心して見てもらえる場所があればいいと思う。
- NO 30 子育てする上でお金がかかります。その為働く事となりますが、職場が働きやすい環境であってほしい。子供が熱等で体調が悪い時など、中抜けができたり早退できたり休めたりと心よく承諾してくれると両立しやすい。相談したり協力してくれる人がいるのは助かるけど、たのむ側も心苦しいのでできるだけ親が解決したい。その為子供を育てながら
- NO 31 子供がカゼなどの際、どうしても仕事を抜けられ時や休めない時看てもらえる人や場所があると助かります。子供にはとても申し訳ないと思いますが家族みんな働いてる為。
- NO 32 共働きの家庭が増え、学童を利用するにも時間の制約もあり学年の制約もあり。児童センターもお弁当持参も受け付けず、お昼は帰宅させられてしまう。働く母親にとって祖父母の協力をお願いしにくい長期休みの期間は自宅で留守番を夜までさせるしかありません。子育てしやすい町ではないと感じています。
- NO 33 病児保育があると嬉しいです。
- NO 34 現在は子供に手がかからなくなったので問題はないけど。小さい時は、買い物や自身の病院、美容室など少しの時間でも無料で気軽にあずかしてもらえる場所があれば、、、って思っていました。夫の留守が多くて、育児が辛いと思う時もありました。
- NO 35 共働きが出来るサポート(主に職場からの)
- NO 36 サポートの必要性を感じない
- NO 37 出生～学童期のいつでも、子どものことをワンストップで相談でき必要なサポートを受けられると良い

お子さんの保護者の就労状況について

問10 保護者の現在の就労状況について

(1) 母親の就労状況

	人数	割合
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中ではない	45	36.6%
フルタイムで就労しているが産休・育休・介護休業中である	1	0.8%
パート・アルバイト等で就労しており産休・育休・介護休業中ではない	51	41.5%
パート・アルバイト等で就労しているが産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが現在は就労していない	18	14.6%
これまで就労したことがない	2	1.6%
無回答	6	4.9%

(1)-1 週当たりの就労日数

	人数	割合
1日	2	1.6%
2日	1	0.8%
3日	2	1.6%
4日	13	10.6%
5日	52	42.3%
6日	23	18.7%
7日	6	4.9%
無回答	24	19.5%

1日当たりの就労時間

	人数	割合
3時間未満	2	1.6%
3～6時間未満	28	22.8%
6～9時間未満	53	43.1%
9時間以上	13	10.6%
無回答	27	22.0%

(1)-2 家を出る時刻

	人数	割合
6時前	0	0.0%
6～8時前	18	14.6%
8～10時前	68	55.3%
10時以降	4	3.3%
無回答	33	26.8%

帰宅時刻

	人数	割合
17時前	42	34.1%
17～19時前	43	35.0%
19～21時前	4	3.3%
21時以降	1	0.8%
無回答	33	26.8%

(2) 父親の就労状況

	人数	割合
フルタイムで就労しており産休・育休・介護休業中ではない	108	87.8%
フルタイムで就労しているが産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
パート・アルバイト等で就労しており産休・育休・介護休業中ではない	0	0.0%
パート・アルバイト等で就労しているが産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが現在は就労していない	2	1.6%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	13	10.6%

(2)-1 週当たりの就労日数

	人数	割合
1日	1	0.8%
2日	0	0.0%
3日	2	1.6%
4日	0	0.0%
5日	51	41.5%
6日	40	32.5%
7日	12	9.8%
無回答	17	13.8%

1日当たりの就労時間

	人数	割合
3時間未満	0	0.0%
3～6時間未満	0	0.0%
6～9時間未満	47	38.2%
9時間以上	57	46.3%
無回答	19	15.4%

(2)-2 家を出る時刻

	人数	割合
6時前	5	4.1%
6～8時前	56	45.5%
8～10時前	29	23.6%
10時以降	2	1.6%
無回答	31	25.2%

帰宅時刻

	人数	割合
17時前	8	6.5%
17～19時前	52	42.3%
19～21時前	28	22.8%
21時以降	3	2.4%
無回答	32	26.0%

問11 フルタイムへの転換希望について

	(1)母親		(2)父親	
	人数	割合	人数	割合
フルタイムへの転換希望があり実現できる見込みがあ	6	12.2%	1	100.0%
フルタイムへの転換希望はあるが実現できる見込みな	13	26.5%	0	0.0%
パート・アルバイトの就労を続けることを希望	30	61.2%	0	0.0%
パート・アルバイトをやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%	0	0.0%
合計	49	100.0%	1	100.0%

問12 就労希望について

(1)母親

	人数	割合
子育てや家事などに専念したい(就労予定なし)	4	28.6%
1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になっ たら就労したい	1	7.1%
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	9	64.3%
合計	14	100.0%

就労を希望する一番下の子どもの年齢

	人数	割合
0歳	0	0.0%
1歳	0	0.0%
2歳	0	0.0%
3歳	0	0.0%
4歳	0	0.0%
5歳	0	0.0%
6歳	0	0.0%
7歳	0	0.0%
8歳	0	0.0%
9歳	0	0.0%
10歳以上	1	100.0%
合計	1	100.0%

希望する就労形態

	人数	割合
フルタイム	4	44.4%
パート・アルバイト等	5	55.6%
合計	9	100.0%

週当たりの日数

	人数	割合
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	2	50.0%
4日	0	0.0%
5日	2	50.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
合計	4	100.0%

1日当たりの時間

	人数	割合
3時間未満	0	0.0%
3～6時間未満	4	100.0%
6～9時間未満	0	0.0%
9時間以上	0	0.0%
合計	4	100.0%

(2)父親 【 回答者無しのため、記載省略 】

お子さんの放課後の過ごし方について

問13 放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか【複数回答】

	自宅	祖父母や 友人知人 宅	習い事	児童セン ター	児童保育所 現在利用 中	児童保育所 6年生まで 対象の場合	公民館、 公園	その他
1日	人数	8	11	13	4	2	0	1
2日	人数	14	11	12	1	0	0	0
3日	人数	9	1	15	0	1	2	0
4日	人数	7	0	8	0	2	0	2
5日	人数	45	2	7	0	10	6	3
6日	人数	5	0	2	0	5	5	0
7日	人数	8	0	0	0	0	0	0
合計	人数	96	25	57	5	20	13	6
	割合	44.7%	11.6%	26.5%	2.3%	9.3%	6.0%	2.8%

児童保育所を現在利用中の場合の下校時刻

	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	無回答	合計
人数	5	9	6	0	0	20
割合	25.0%	45.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%

児童保育所を6年生まで対象の場合の下校時刻

	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	無回答	合計
人数	0	7	6	0	0	13
割合	0.0%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%

問14 問13「5. 学童保育所」と回答した方が対象。
学童保育所の土・日・祝日の利用希望

(1)土曜日

	人数	割合
低学年の間は利用したい	8	32.0%
高学年になっても利用したい	11	44.0%
利用する必要はない	6	24.0%
合計	25	100.0%

利用したい時間帯(土曜日)

	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
人数	13	3	0	0	2	0	1	0	2	6	7
割合	38.2%	8.8%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	2.9%	0.0%	5.9%	17.6%	20.6%

利用したい学年(土曜日)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
人数	0	1	1	2	1	5
割合	0.0%	10.0%	10.0%	20.0%	10.0%	50.0%

(2)日曜日・祝日

	人数	割合
低学年の間は利用したい	2	8.3%
高学年になっても利用したい	8	33.3%
利用する必要はない	14	58.3%
合計	24	100.0%

利用したい時間帯(土曜日)

	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
人数	6	2	0	0	1	0	0	0	0	3	4
割合	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	25.0%

利用したい学年(土曜日)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
人数	0	0	0	2	1	4
割合	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	57.1%

問15 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の学童保育所の利用希望

	人数	割合
低学年の間は利用したい	12	15.2%
高学年になっても利用したい	16	20.3%
利用する必要はない	51	64.6%
合計	79	100.0%

利用したい時間帯

	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
人数	20	7	0	0	0	0	0	2	3	11	10
割合	37.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	5.6%	20.4%	18.5%

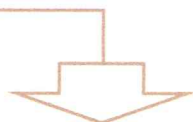
利用したい学年

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
人数	0	1	3	2	1	9
割合	0.0%	6.3%	18.8%	12.5%	6.3%	56.3%

お子さんの病気の際の対応

問16 お子さんが病気等で学校を休まなければならなかったことがありますか

	人数	割合
あった	66	53.7%
なかった	53	43.1%
無回答	4	3.3%



問16-1 病気やケガで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法【複数回答】

	ア 父親が休んだ		イ 母親が休んだ		ウ 親族・知人にみてもらった		エ 父母の就労していない方がみた		オ 病児・病後児保育を利用		カ ベビーシッターを利用		キ 仕方なく子どもだけで留守番		ク その他	
日数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～5日	12	100.0%	37	86.0%	15	83.3%	5	62.5%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%	3	100.0%
6～10日	0	0.0%	5	11.6%	3	16.7%	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11～15日	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16～20日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
21日以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%	43	100.0%	18	100.0%	8	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9	100.0%	3	100.0%

問16-2 できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいかどうか

	日数	人数	割合
できれば利用したい	1～5日	13	25.5%
	6～10日	2	3.9%
	11～15日	0	0.0%
	16～20日	0	0.0%
	21日以上	0	0.0%
利用したくない		36	70.6%

問16-3 できれば病児・病後児保育施設等を利用する場合、いずれの事業形態が望ましいですか【複数回答】

	人数	割合
学校・幼稚園・保育所等に併設した施設	10	38.5%
病院(小児科等医療機関)に併設した施設	8	30.8%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	8	30.8%
その他	0	0.0%

問16-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由【複数回答】

	人数	割合
病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	16	23.5%
地域の事業の質に不安がある	5	7.4%
地域の事業の利便性がよくない	7	10.3%
利用料がかかる・高い	6	8.8%
利用料がわからない	10	14.7%
親が仕事を休んで対応する	20	29.4%
その他	4	5.9%

問16-5 問16-1で「ウーく」と回答した方が対象。

できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか

		人数	割合
できれば仕事を休んで看たい	1～5日	9	42.9%
	6～10日	2	9.5%
	11～15日	0	0.0%
	16～20日	0	0.0%
	21日以上	0	0.0%
非常に難しい		10	47.6%

問16-6 休んで看することは非常に難しい理由は何ですか【複数回答】

	人数	割合
子どもの看護を理由に休みが取れない	4	40.0%
自営業なので休めない	4	40.0%
休暇日数が足りないので休めない	2	20.0%
その他	2	20.0%

お子さんの宿泊を伴う一時預かりの利用

問17 この1年間に用事によりお子さんを泊まりがけで家族以外の人にみてもらわなければならないことはありませんか

日数	親族・知人にみてもらった(同居者含む)			認可外保育施設、ベビーシッター等を利用			仕方なく子どもを同行させた			仕方なく子どもだけで留守番させた			その他					
	人数	割合	泊りがけ	人数	割合	泊りがけ	人数	割合	泊りがけ	人数	割合	泊りがけ	人数	割合	泊りがけ			
1～5日	14	77.8%	13	81.3%	回答無し			4	100.0%	2	100.0%	2	66.7%	1	100.0%	回答無し		
6～10日	3	16.7%	2	12.5%				0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%		0	0.0%
11～15日	1	5.6%	0	0.0%				0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%
16～20日	0	0.0%	0	0.0%				0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%
21日以上	0	0.0%	1	6.3%				0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		0	0.0%
合計	18	100.0%	16	100.0%				4	100.0%	2	100.0%	3	100.0%	1	100.0%			

なかった

90

問17-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度はどの程度だったか

	人数	割合
非常に困難	3	10.7%
どちらかというと困難	12	42.9%
特に困難ではない	13	46.4%

問18 緊急時などで泊りがけで頼まれるサポート事業が町内にあった場合に利用しますか。

	人数	割合
低学年(1～3年生)の間は利用したい	8	7.3%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	11	10.0%
利用する必要はない	91	82.7%

日数	人数	割合
1～5日	14	82.4%
6～10日	1	5.9%
11～15日	1	5.9%
16～20日		0.0%
21日以上	1	5.9%
合計	17	100.0%

問19 子育てについて、理想としてどのようなお考えをお持ちでしょうか。

	人数	割合
出産後すぐにでも子どもを預けて仕事をした方が良い	6	4.9%
出産後1・2年は家庭で子育てをし、その後は預けて仕事をした方が良い	33	27.0%
子どもがある程度大きくなるまで家庭で子育てをし、その後仕事をした方が	70	57.4%
父母は、子育てや家事など家庭を中心に専念した方が良い	5	4.1%
その他	8	6.6%

問20 子育てについて、実際はどうでしたか。

	人数	割合
理想どおり仕事をした	41	34.5%
理想どおり家庭で子育てをしている	23	19.3%
家庭で子育てをしたいが仕事をせざるを得なかった	39	32.8%
仕事をしたいが見つからなかった	9	7.6%
預ける所がなく仕事ができなかった	3	2.5%
その他	4	3.4%

問21 子育ての環境や支援への満足度について

1が満足度が低く、5が満足度が高い。

満足度	人数	割合
1	10	8.1%
2	38	30.9%
3	46	37.4%
4	26	21.1%
5	2	1.6%
無回答	1	0.8%
合計	123	100.0%

- NO 1 私の仕事はフル・パートでもありません。6か月だけの泊りの仕事です。父母がいないと出来ない仕事なので、以前は学童も預けたりしましたが、収入が不定期なので何とも言えないアンケートの回答になりました。
- NO 2 少年団の活動についてはスポーツは充実していると思う。一方で文化部は少ないようだ。その辺が解消されると良いと思う。高校生になり北見など町外への通学が必要な際交通手段の充実を望む。(朝晩のJRの本数)
- NO 3 ひまわり保育園には大変お世話になった。当時1歳になったら預けられる所がひまわりしかなかったが補助でもよかった。病後児・回復期児などみてくれる所があれば良かった。学童が8時前は受け入れてもらえず、8時就業開始なので冬や雨の日は大変です。イベントや教育活動、施設には満足している。
- NO 4 美校の制服が無料になってほしい。給食もあつたらよい。津別高校の様に条件が良くないと行く子どもたちがいない。
- NO 5 子育ての環境としては、学校のクラス編成人数が減少していることがみられると思う。中学校2校の人数格差も大きいと思う。現美芳に居住しており上の子は美中へ通学していた。遠い。また、小学校からの英語の授業の充実を求める。
- NO 6 保育環境を充実させた方が良いかも知れないが、子どもたちが利用する施設の改修等も見えて欲しい。スポーツセンターやプール等古くて使いづらい。他の市町村と比較してしまう。せっかくスポーツが強いのに・・・と思ってしまう。公園も清掃せず何年も水が張られていなかったり、子どもたちが利用する所は全然気にせず老人にばかり気を使っている町だと思う。
- NO 7 実家も遠いので同じような環境の人とは知り合いどうし、協力してきたのが多く、子どもが熱を出したりして病院に連れて行くときに他の兄弟を預かったり、送り迎えしたり助け合いできた。このような人間関係に恵まれなかった場合、とても困ることが多いのではと感じる。特に車社会。交通の便や預け先、一人での子育てだと特に大変なことと思う。
- NO 8 学童が0年生まで利用出来るようになったのはいいと思うが、1～6年生が対象になるとすれば学童内での配慮はかなり必要となるのでは。我が家では保育園や幼稚園、学童、児童センター等様々な所でお世話になってきたが、信頼できる先生が少ない。安心して預けることができるような場所、人材集めが重要なのではないかと思う。
- NO 9 安全ばかりを考えた幼児向けの公園ばかりで小学生の遊ぶ場所がない。小学生の発達をもっと考えて欲しい。児童館のようにお弁当を持っていけば1日過ごせる所があると良い(学区内に1つ)。児童センターが遠い。
- NO 10 子が2歳の時から父子家庭だが、行政等にサポートを受けられたことはない。現在病気で仕事ができない状況が続いているので今後の生活に不安がある。
- NO 11 児童センターが旭小地区からだ遠いのでなかなか利用できない。学校の支援の先生が少なすぎる。冬休み期間等、スキー場までのバスの運行があればうれしい。
- NO 12 キテラスの様な室内で遊べる所を増やして欲しい。(小学生が遊べる所)
- NO 13 病後施設はいらないと思う。他の子の菌をもらってしまう可能性がある。
- NO 14 子どもたちが小さい時に通院が理由の一時預かりはしてもらえたが、人間ドックが理由ではしてもらえなかったのが困った。今はできるようにになったのか。できるようになることを望む。
- NO 15 今回のアンケートを次世代の若いお母さん、お父さんに寄り添える何らかの手立てを見出してもらえると嬉しい。三男は学童保育所でお世話になっている。先生方から折り紙や工作、卓球など幅広く教えていただき充実した様子に日々感謝です。先生方の質の高さには頭が下がる。
- NO 16 学校の担任1人では不足と考える。少人数クラスまたは担任以外の先生を増やして欲しい(支援級ではないがボーダー児の対応など)。町として発達障害への講習指導(特に中学校教師)をお願いしたい。医療費・給食費無料。
- NO 17 学童保育所を利用していたが、当時母の退社時間までみてもらえず父が早退して迎えに行った。シフト制で連日ではなく、面談等状況により受け入れてもらえると良かった。6年生まで学童を利用できるなら、仕事をしている親は大変助かると思うのでぜひ実現して欲しい。
- NO 18 小学1年生の頃から一人で育てているが、現在は多少手がかからなくなってきた。急な出張等に対応してくれる施設があればありがたい。
- NO 19 祖父母がいらない場合、自分が病氣、入院した場合サポートしていただけるのかを知りたい。
- NO 20 祖父母と同居で子どもを預けることもなく特に不満はない。仕事も土日が休みで子育てを中心に選んだものであり、充実した日々を過ごしている。友人に障がいのある子どもがいて美幌町では対応できず近隣の市町村へ通っているのを、できれば町内で対応していただけたらいい。すぐに難しいのは承知している。
- NO 21 8月から中学生までの医療費負担が減ったことがとても助かる。インフルエンザワクチンの助成もそう。少しずつ良い方向に充実していることに感謝。もう少しみんなが参加しやすいのもよいと思う。
- NO 22 子どもが小さい時は母の精神的負担を軽減するために一時預かりや託児付きのイベント・コンサートなどが多いと助かる。小学校へ入学するときは通学や送迎の不安が大きいため平日の学童の現在18時を19時位まで余裕があれば良いと思う。長期休業中は7時30分開始であると通勤で助かる。小1～2は自分で時間どおり鍵をかけて通学するのが大変である。
- NO 23 中学校を選ばせて欲しい。美小から美中へ行く子どもが少なく不安に思う子どもはいると思う。子どものスポーツを応援してくれるならば部活でも選べるようにして欲しい。
- NO 24 学童は利用した日数分を計算して欲しい(週に2回位しか利用しない時があるから)。児童センターまで遠いのでバス等の利用がしたい。
- NO 25 児童センターは遠くて難しい。小学校各地域にあれば友達の家で遊ばなくても良いと思う。学童は認知しているが毎月利用料がかかるので経済的にきつい。毎月給食費も払っているのになんのために働いているのかわからなくなる。もっと子どものいる家庭が生活しやすい制度を作って欲しい。あまり期待していないが考えて欲しい。

- NO 26 学校のそばに児童館がない。ソーシャルスキルをもっと学べたら良い。支援学級にいる子が進みやすい高校はないのか。脳の訓練ができるような所があれば良い。

NO 27 子育て環境は良くなっているかも知れないが、金銭面で今と10年前ではかなりの差があると思う。今は医療費や保育料もとても安く済むし、昔は倍の金額を払って子育てしてきたと思う。中学まで医療費も0.5割になったが、中学生や小学高学年世代はほとんど使えず終わってしまうそう。せめて高校までにしてくれるとありがたい。

NO 28 共働きで夕食を取らせる時間が遅く、帰宅すると子どもたちはお腹を減らして待っている現状。子ども食堂で週1回母子で食事の提供を受けて助かっている。できれば町も子ども食堂を支援して回数や内容充実を図っていただきたい。

NO 29 教育費、医療費等、子どもにかかる費用は収入の上限なく面倒を見て欲しい。

NO 30 子ども等員へアトムの発達障害者元フットボールに注目したいという声のついでに前向きな声も聞きたいので応援しよう。持病や療育のリハビリにお金がかかるといった矢先に医療費が安くなり、大変助かっている。食物アレルギーも給食センター栄養士によくいていただき毎日おいしいと喜んでいる。発達障害も学校担任に協力していただき楽しく学校へ通えている。ありがた。

NO 31 美富で学校から遠く、スクールバスがない。冬は暗くなるのも早いし美富橋の歩道と道路の仕切りもなく危険。交通量も多い。今はバスに乗車可能となったが、下校時の16時1本しかないのは何とかして欲しい。豊岡と同様下校時間に合わせたバスを出して欲しい。

NO 32 子どもが発達支援センター出身。大変お世話になり能力も伸び毎日楽しく学校生活を送れているようだ。先生に異動があるのが残念。専門職なので経験や知識が異動によって活かされず、担当の先生が変わり不安を感じるデメリットにしか感じない。発達を希望する先生は異動がないようになるといいと思う。気持ちを伝える機会をいただきありがたい。

NO 33 中学生以下の医療費負担が軽くなって助かった。近隣の町では給食費や学童が無料のことを知り、そうなればいいと願う。教材費がもう少し補助があればありがたい。絵具セットやリコーダー等途中で購入しなければならないものが多い。兄弟が多いと1つ1つは小さな額でも負担が大きいく。

NO 34 小学高学年、中学生になると教育にかなりの金額がかかり家計負担で生活苦になる。最低でも給食費を無料、医療費も無料でいと思う。中学に入るのに教育費等も援助してくれと助かる。とにかくこの地域は子育てしづらい町だ。

NO 35 低収入者が多いのでこども一人に対しての助成を充実させて欲しい。

NO 36 児童センターは旭小区域から遠く夏場はどうにか自転車で行けるが冬場は送迎でなくては行けず我が家の兄弟はほぼ利用していません。こちらの区域にも室内で自由に遊べる場所が欲しいとずっと考えています。

NO 37 夏休みの予定の調整がうまくいかなくて困っています。小学校の先生が怖くて厳しいのを見ていて子供が嫌がり預ける所がなく仕事ができず困ってます。子供が喜んで楽しいける預ける場所があると助かります。グレイゾーンの子供が増えているので、通常級に介助員の先生を増やして子供を育てる為にはお金が必要なのではないかと悩んでいます。その為には保育園や幼稚園に預ける必要があるので預ける際にはお金がかかるのでフルで働く必要があった。しかし仕事をフルでするとお迎えに間に合わず、仕事から抜けさせて頂くことがあった。又急病時もお迎え難しく祖母に仕事を中抜けや早退してもらいお迎えをしてもらった事があった。そのような周りへの迷惑さはありませんが、ママさん会などで相談するのはなかなか、何とかならないかと悩んでいます。

NO 38 子供を預ける場所等が少ないし不十分

NO 39 きてらすのような、小学生が子供だけでも利用できる場所を増やしてほしい。図書館に子供連(たくさんの)が勉強できるスペースを広くしてほしい。小学生にスマホは必要ないことを保護者に指導してほしい。スキー場のロッジに冷凍食品を利用できる環境にしているのは子供にはよくないと思う。小学校1〜6年までの6年間はスケートとスキーは全小学校がやった方がよいと思う。

NO 40 夏は公園で遊ぶ事ができますが冬は徒歩で遊びに行ける所が無いので家でゲームばかりしています。子供のころみたいに近くの住民センターが有ってテニスとか卓球とかオセロとか絵本を読む所があったら良いと思いました。

NO 41 学校までの通学に2.4kmありますが、スクールバスにのれず農家ではないので自力で通っています。どうせ走っているスクールバスにのれるようにもう少し考えてほしい。

NO 42 他地域へ勤務中など子供を急きょお迎えに行かなくてはいけない時に代行として行って来て専門的な知識があって安心できる方に行ってもらいたい。そして仕事をぬけたり職場に迷惑もかからない様に仕事が終わるまでみてくれると仕事もしやすいです。

NO 43 春休みも短期の学童保育が使えたいと思う

NO 44 平素無償が多いが子供を預けたい場合は有料にする状況を受け入れ、奨励金に就労手当をいれようとするのを検討しています。1クラスしか各学年にいないのに3校必要なのか。学芸会も少ない先生でいっぱいいっぱいに対応してます。保育なんかのことよりも、小学校のあり方の方が美観は問題だと思います。PTAの数も少なく全てが負担が多くなってきています。美観の問題は関係ないと思います。

NO 45 習い事の種類の少なさ、やらせたい物ができない。又はその機会を設けられない

NO 46 医療費の削減は良いですが、中には減った分は他のところに回す必要があるのではないか。少しの心配でも、あまり減るとなると影響が出てくるのではないかと心配しています。このまま継続して頂きたいです。学童利用料が高いと感じます。また、減額対象も続けて何日以上休みの場合のみ適用な事も不満です。今の利用料ならば祝日の受け入れ対応も考えて頂きたいです。GWやシルバーウィークなどの連休も、祝日などは休みの日は休みの日にしても構いません。GWやシルバーウィークなどの連休も、祝日などは休みの日は休みの日にしても構いません。

NO 47 フルタイムで働く母親があたり前の時代になりました。学童保育の拡充は必須ではないでしょうか。6年生までの受け入れ、スペースの確保、人員の確保にお金を使っていきたいと思います。電子黒板やパソコンの充実、その後だと思います。

NO 48 母子家庭に限らず全世帯に補助制度があればいいと思う。

NO 49 私(妻)の会社は有休というのがとれない環境である為、町職員のように、年に5〜10日子供の事などで自由に休みを取る決まり(制度)ができたらいと思う。

NO 50

- NO 51 小さい子供がいる家庭が安心して子育てができる環境が必要だと思います。出来る事から要望に応じてあげてほしいと思います。未来にとって大切な子供達です。町全体で育てていけるような支援体制が大事なのではないのでしょうか。よろしくお願いします。
- NO 52 子育てにいい場所、相談したい、リソースをどうにかしたいところへは強い要望があるが、それでいいタイミング、つながっている場所が合わないニーズが満たされないように思う。美幌町には保健師さん、保育士さん、先生方、個々に相談できる力を持っている方はいるが、その人たちを統括する組織、町、となると相談体制の弱さを感じます。充実した子育て環境を求めて美幌町に定住したいと思う方も増えている、支援策も必要ではないか。